【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第４項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年４月８日
【四半期会計期間】	第32期第２四半期(自　平成22年７月１日　至　平成22年９月30日)
【会社名】	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
【英訳名】	ITOCHU Techno-Solutions Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 菊地 哲
【本店の所在の場所】	東京都千代田区霞が関三丁目２番５号
【電話番号】	(03)6203-5000(代表)
【事務連絡者氏名】	主計部長 矢板 邦彦
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区霞が関三丁目２番５号
【電話番号】	(03)6203-5000(代表)
【事務連絡者氏名】	主計部長 矢板 邦彦
【縦覧に供する場所】	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 大阪支店 (大阪市北区梅田三丁目１番３号) 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 名古屋支店 (名古屋市中区錦一丁目５番11号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号)

１ 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年11月11日に提出いたしました第32期第２四半期（自 平成22年７月１日 至 平成22年９月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

２ 【訂正事項】

第一部 企業情報

第２ 事業の状況

１ 生産、受注及び販売の状況

(4) 販売実績

４ 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

第５ 経理の状況

１ 四半期連結財務諸表

注記事項

セグメント情報等

セグメント情報

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

３ 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第２ 【事業の状況】

１ 【生産、受注及び販売の状況】

(4) 販売実績

当第２四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（訂正前）

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ソリューションビジネスセグメント	69,149	―
サービスビジネスセグメント	13,135	―
報告セグメント計	82,284	―
調整額	△11,246	―
合計	71,038	―

(注) １．セグメント間の取引については、調整額において消去しております。

２．前第２四半期連結会計期間及び当第２四半期連結会計期間における業種別の販売実績並びにその構成比は、次のとおりであります。

業種	前第２四半期連結会計期間 (自 平成21年７月１日 至 平成21年９月30日)		当第２四半期連結会計期間 (自 平成22年７月１日 至 平成22年９月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
通信・放送	20,646	29.0	22,130	31.2
電気	3,783	5.3	4,071	5.7
製造等	10,943	15.3	10,876	15.3
情報サービス	13,767	19.3	15,502	21.8
公共	5,791	8.1	2,999	4.2
商業・運輸	5,230	7.3	5,392	7.6
金融・保険	6,995	9.8	6,439	9.1
その他	4,183	5.9	3,626	5.1
合計	71,342	100.0	71,038	100.0

３．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（訂正後）

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ソリューションビジネスセグメント	69,136	―
サービスビジネスセグメント	22,702	―
報告セグメント計	91,838	―
調整額	△20,800	―
合計	71,038	―

(注) １．セグメント間の取引については、調整額において消去しております。
２．前第２四半期連結会計期間及び当第２四半期連結会計期間における業種別の販売実績並びにその構成比は、次のとおりであります。

業種	前第２四半期連結会計期間 (自 平成21年７月１日 至 平成21年９月30日)		当第２四半期連結会計期間 (自 平成22年７月１日 至 平成22年９月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
通信・放送	20,646	29.0	22,130	31.2
電気	3,783	5.3	4,071	5.7
製造等	10,943	15.3	11,200	15.8
情報サービス	13,767	19.3	15,634	22.0
公共	5,791	8.1	3,141	4.4
商業・運輸	5,230	7.3	5,402	7.6
金融・保険	6,995	9.8	5,617	7.9
その他	4,183	5.9	3,838	5.4
合計	71,342	100.0	71,038	100.0

３．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

（訂正前）

＜前略＞

ソリューションビジネスセグメントはエンタープライズシステム事業グループ等で収益が増加したものの、情報通信システム事業グループや金融システム事業グループを中心に減少し、売上高は69,149百万円、営業利益は5,505百万円となりました。サービスビジネスセグメントはデータセンター事業グループや連結子会社において収益が減少し、売上高は13,135百万円、営業利益は3,343百万円となりました。

（注）上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた金額を含んでおります。

（訂正後）

＜前略＞

ソリューションビジネスセグメントはエンタープライズシステム事業グループ等で収益が増加したものの、情報通信システム事業グループや金融システム事業グループを中心に減少し、売上高は69,136百万円、営業利益は5,505百万円となりました。サービスビジネスセグメントはデータセンター事業グループや連結子会社において収益が減少し、売上高は22,702百万円、営業利益は3,343百万円となりました。

（注）上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた金額を含んでおります。

第５ 【経理の状況】

１ 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第２四半期連結累計期間(自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)

（訂正前）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ソリューションビジネスセグメント	サービスビジネスセグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	122,429	4,895	127,324	―	127,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	525	20,368	20,893	△20,893	―
計	122,954	25,263	148,218	△20,893	127,324
セグメント利益	7,444	5,645	13,090	△7,259	5,830

(注) １．セグメント利益の調整額△7,259百万円には、主に全社費用△8,084百万円、セグメント間取引消去747百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ソリューションビジネスセグメント	サービスビジネスセグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	122,429	4,895	127,324	―	127,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	503	38,717	39,220	△39,220	―
計	122,932	43,612	166,545	△39,220	127,324
セグメント利益	7,444	5,645	13,090	△7,259	5,830

(注) １．セグメント利益の調整額△7,259百万円には、主に全社費用△8,084百万円、セグメント間取引消去747百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結会計期間(自 平成22年７月１日　至 平成22年９月30日)

（訂正前）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ソリューションビジネスセグメント	サービスビジネスセグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,749	2,288	71,038	―	71,038
セグメント間の内部売上高又は振替高	399	10,846	11,246	△11,246	―
計	69,149	13,135	82,284	△11,246	71,038
セグメント利益	5,505	3,343	8,849	△3,422	5,426

(注) １．セグメント利益の調整額△3,422百万円には、主に全社費用△3,918百万円、セグメント間取引消去376百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	ソリューションビジネスセグメント	サービスビジネスセグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,749	2,288	71,038	―	71,038
セグメント間の内部売上高又は振替高	386	20,413	20,800	△20,800	―
計	69,136	22,702	91,838	△20,800	71,038
セグメント利益	5,505	3,343	8,849	△3,422	5,426

(注) １．セグメント利益の調整額△3,422百万円には、主に全社費用△3,918百万円、セグメント間取引消去376百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。